

弱者救援へ沖縄のきずな

沖縄平和賞 アムダ菅波代表

2004.10.23
琉球新報

「お墨付き」と喜びの声

「沖縄とパートナーシップが組めるお墨付きをもらった。うれしい」。第二回沖縄平和賞に輝いた特定非営利活動法人アムダ（AMDA）代表の菅波茂さん。二十二日、名護市の万国津梁館で開かれた記念講演で、沖縄から賞を贈られた喜びを表現した。

「Sogofujio（相互扶助） Spirit（相互扶助）」の世界」をテーマに講演した菅波さんは、平和賞の受賞を祝う関係者に前に、南米移民の多い沖縄の特長を生かした国際貢献を提案した。三十年余にわたり貧困対策を含めた医療・開発、被災者への緊急救援

を五十カ国で実践してきた菅波さんは「南米にある日系人のネットワークは日本の公共財産だ」と、沖縄の可能性を高く評を提案した。高橋二年の時に、太平洋戦争を伝える写真集を



授賞式後のレセプションで祝福を受ける「アムダ」の菅波茂代表(中央) —22日午後6時すぎ、名護市の万国津梁館

のきっかけにつながったと報告。米軍基地を抱える沖縄の存在に「ある種の罪悪感があり、自問自答していた」と振り返った。常に意識していた沖縄からの賞に、「正式に沖縄とパートナーシップが組めると認定してもらえた」と喜びをかみしめていた。

講演や記者会見の後、記念レセプションも盛大に開かれ、アムダ沖縄支部の大仲良一支部長らと祝杯を上げた。